

---

平成 28 年度  
多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業  
実施報告書

---

平成 29 年 3 月



## ■ 目 次 ■

|            |   |
|------------|---|
| I 事業概要     | 1 |
| II 実施事業一覧  | 2 |
| III 実施事業内容 | 5 |

### 資料編

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 資料 1 多摩・島しょわがまち活性化事業助成金交付要綱 | 59 |
| 資料 2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱  | 62 |
| 資料 3 市町村共同事業助成金審査会委員名簿      | 64 |



## I 事業概要

### 1 多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業について

本事業は、多摩・島しょ地域にある「まちの魅力」を通して住民の地域への愛着・誇りを高め、各市町村が計画的に実施するまちの活性化につながる事業を支援することにより、多摩・島しょ全体の魅力を高めることを目的に、市町村に対し助成金を交付する事業である。

助成期間は、平成 27 年度から平成 29 年度までの3か年とする。

なお、本事業は、東京都市長会の政策提言「多摩地域におけるシティプロモーションについてー市民に愛される、活性化したまちを目指してー（平成 26 年2月）」を受け、平成 27 年度から助成事業として制度化したものである。

|        |   |
|--------|---|
| 助成対象事業 | 多摩・島しょの市町村が、まちの活性化に資する事業として、新規又はレベルアップして実施する、次の①～③のいずれかに該当する事業のうち、東京都市長会会長が必要と認める事業とする。<br>【事業種別】<br>①「まちの魅力」向上事業<br>②「まちの魅力」発信事業<br>③「まちの魅力」活用事業 |
| 助成額    | 一市町村につき年間 300 万円以内  |

### 2 市町村共同事業助成金審査会

本助成金の交付にあたっては、市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、その可否を決定することとなっており、次のとおり実施した。

#### (1) 実施日時

平成 28 年4月8日（金）午後2時 30 分～午後4時30分

#### (2) 申請・審査件数

市町村数 38 市町村、事業数 48 件

#### (3) 審査結果

適正事業数 48 件、不適正事業数 0 件

## Ⅱ 実施事業一覧

| 市町村名  | 事業名                                       | 掲載<br>頁 |
|-------|---|---------|
| 八王子市  | 八王子の魅力発信事業                                | 5       |
|       | 八王子城跡魅力発信事業                               | 6       |
| 立川市   | 「立川の魅力」発信強化事業                             | 7       |
| 三鷹市   | 三鷹市魅力向上事業 第15回インディーズアニメフェスタ               | 9       |
|       | 三鷹市魅力向上事業<br>津島家寄託 太幸治資料展Ⅱ～師、友 そして「饗応夫人」～ | 10      |
| 青梅市   | 梅の里再生事業                                   | 11      |
| 府中市   | 府中×漫画で活性化！事業                              | 12      |
| 昭島市   | あきしまブランド・フードグランプリ                         | 13      |
| 調布市   | 調布市魅力発信事業                                 | 14      |
| 町田市   | 地域の魅力発見・向上支援事業                            | 15      |
| 小金井市  | チャレンジデー事業                                 | 16      |
| 小平市   | 小平魅力発信事業                                  | 17      |
| 日野市   | 日野人ちょこっと散歩会                               | 18      |
|       | 水都日野わがまち活性化業務                             | 19      |
| 東村山市  | シティプロモーションの推進                             | 20      |
| 国分寺市  | 国分寺市×宇宙 まちに眠る魅力発掘事業                       | 21      |
| 国立市   | LINKくにたち2016                              | 22      |
| 福生市   | まちの魅力発信支援事業                               | 23      |
| 狛江市   | まちの魅力を再発見「郷土カルタ」作成事業                      | 24      |
|       | チャレンジデー事業                                 | 25      |
|       | こまえの魅力創作展事業                               | 26      |
|       | 狛江古代カップ「多摩川いかだレース」                        | 27      |
|       | ここがふるさと・東大和の魅力発見・発信し隊                     | 28      |
| 清瀬市   | 清瀬市シティプロモーション推進事業                         | 30      |
| 東久留米市 | 東久留米市ブランド認定ならびに広域発信事業                     | 31      |
| 武蔵村山市 | 武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合事業                   | 32      |
| 多摩市   | せいせきみらいフェスティバル                            | 33      |
| 稲城市   | 観光推進事業                                    | 34      |
| 羽村市   | はむらの魅力創出事業                                | 35      |
| あきる野市 | 秋川渓谷観光統計・プロモーション事業                        | 36      |
|       | 市民体力向上推進事業                                | 37      |

## 多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業

|      |                        |    |
|------|------------------------|----|
| 西東京市 | めぐみちゃんメニューフェスタ         | 38 |
|      | 文化財を活用した西東京市の魅力発見・発信事業 | 39 |
| 瑞穂町  | 東京みずほブランド事業            | 40 |
|      | 残堀川ふれあいイベント事業          | 41 |
| 日の出町 | オリンピックによるトークショーとスポーツ教室 | 42 |
| 檜原村  | 檜原村魅力発見事業              | 43 |
| 奥多摩町 | 奥多摩町魅力発信事業             | 45 |
| 大島町  | 水産・観光活性化事業             | 46 |
| 利島村  | 利島村国際化推進事業             | 47 |
| 新島村  | 新島村魅力発信事業              | 48 |
| 神津島村 | 島しょサッカー大会「まちの魅力」向上事業   | 49 |
|      | ウォーキング大会 地域活性化事業       | 50 |
| 三宅村  | 観光宣伝事業                 | 51 |
| 御蔵島村 | 御蔵島花火大会                | 52 |
| 八丈町  | 八丈島魅力発信事業              | 54 |
| 青ヶ島村 | 青ヶ島魅力発信事業（星空事業）        | 55 |
| 小笠原村 | 教育旅行における小笠原諸島の魅力発信事業   | 56 |





### Ⅲ 実施事業内容

#### 八王子市

##### 八王子の魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年2月28日まで

事業概要 【事業の目的】  
「選ばれ続ける都市」の実現に向けて、市の魅力を内外に戦略的に発信することにより、地域に対する市民の誇りを醸成し、八王子ブランドの確立をはかるため、本助成金を活用し、八王子の魅力発信事業を推進する。

【成果目標】  
平成29年度市政世論調査にて、市の魅力を紹介した経験のある20代、30代市民の割合を、それぞれ27年度から5ポイント向上する。

【事業内容】  
・市内にキャンパスを持つデジタルハリウッド大学と協働し、シティプロモーション動画3本を制作。



1本目「ぼくらの八王子MV」  
市のオリジナルダンスソングを、市内各地で総勢約600人が踊りつないだ。

##### 【シティプロモーション動画】

・平成29年3月1日公開のシティプロモーション特設サイトと連動したパンフレット（B5サイズ12ページ）3,000部を制作。平成29年5月のIFSCボルダリングワールドカップ八王子2017で配布予定。

・市民ライターによるフェイスブックページ「itsumono -八王子の『いつもの』を探すwebマガジン-」の運営を開始。スマートフォンでできる写真撮影講座をライター向けに実施した。

・フェイスブックページの記事をカテゴリ別に掲載し、一覧性・検索性を持たせたアーカイブサイトを構築。  
シティプロモーション特設サイトとあわせて公開している。



【itsumono アーカイブサイト】

## 八王子市

### 八王子城跡魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

事業種別 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 2 月 28 日まで

実施期間 【事業の目的】

我が国における歴史的転換期の史跡として価値が認識され、「日本 100 名城」にも選定されている国史跡「八王子城跡」。平成 24 年度には「ガイドダンス施設」がオープンし、現在は年間 5 万人を超える人々が訪れている。

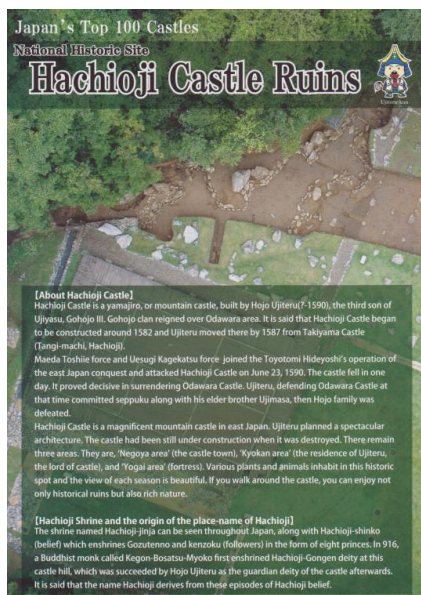
今後、八王子城跡ガイドボランティア活動をより充実させていくことで、市内外からの来訪者に対し、市民協働による地域の更なる魅力発信を図る。

【成果目標】

パンフレットの外国語版の作成やボランティア活動を充実させ、より広く八王子城跡の魅力発信を図ることにより、来訪者の増加を目指す。

【事業内容】

- ・ 八王子城跡散策マップの作成  
外国人観光客向けのパンフレット（英語・中国語・韓国語版）を作成し、八王子城跡ガイドダンス施設などで配布した。
- ・ ガイドボランティアのユニフォーム作成  
ガイドボランティア用のベストとユニフォームを作成した。
- ・ ガイド用パネルの作成  
ボランティアがガイドの際に使用する説明パネルを作成した。



【英語版パンフレット】



【ガイド用ユニフォーム】

立川市

「立川の魅力」発信強化事業

事業種別 まちの魅力「向上」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

事業概要 【事業の目的】  
人口の減少、少子高齢化社会の進行が想定される中、市が持つ魅力や価値を様々なメディアを活用して効果的・効率的にプロモーション活動を展開することで、「知名度」や「愛着心」が向上し、住民や企業の定着を図り、来街者や市民の交流を増やすことにより持続可能で魅力あるまちの実現を目的とする。

【成果目標】  
住み続けたいとする住民割合の上昇、来街者数の増加、シティプロモーション推進の賛同団体数。

【事業内容】

① 「立川市プレミアム婚姻届」について、PRサイト、PRブログ、SNS（Facebook、Instagram、twitter）でPRを行った。

◆「立川市プレミアム婚姻届」専用サイトの開設

◆PRブログ、Facebook 用記事は全12回。その他は全28回分の記事を作成した。

◆多摩地域のホテル・式場等の事業者を中心として結成されたTAMAウェディング推進会等と連携しながら、立川市プレミアム婚姻届を核としたシティプロモーションを行った。

② 市公式キャラクター「くるりん」の物品を活用して、立川のPRを行った。

◆「くるりん」の付せん500部を作成  
来場者の多いイベントで配布



【プレミアム婚姻届 PR サイト】



【くるりんオリジナル付せん】

③ ファーレ立川アート・プロモーションビデオの作成と放映

地域資源であるパブリックアートが点在する「ファーレ立川アート」のPR動画を作成し、YouTube や駅前の大型ビジョンなどで動画を放映するとともに、Facebook での広告運用を行い、「立川の魅力」を広域に発信し、市民・来街者にPRした。

- ◆Facebook「ファーレ立川」ページ  
「いいね」の数が 337 件増  
リーチ数 29,824
- ◆YouTube の当該動画の総再生回数  
1,676 回(2月6日現在)



【プロモーションビデオ】

④ 映画「シン・ゴジラ」で市が舞台となっていることから、市内にある内閣府所管の防災予備施設の見学会・パネル展を実施し、市への来訪者にオリジナルポストカードを配布した。

- ◆オリジナルポストカードの作成  
1,500 枚

⑤ タブレット端末を活用しSNS (twitter)で、市の情報を発信した。

- ◆フォロワー数  
5,467→6,619 へ増 (2月6日現在)



【シン・ゴジラ  
イベント用ポストカード】

⑥市で発信する情報を分かりやすく、効果的に伝えるため、専門家のアドバイスを受けながら、市内にも市外にも戦略的に魅力を発信する手法を検討するアドバイザー事業を実施した。

- ◆2事業×3回のアドバイザー会議を実施



## 三鷹市

### 三鷹市魅力向上事業 第15回インディーズアニメフェスタ

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」事業

事業種別 平成29年3月5日

実施期間 【事業の目的】  
市民のアニメに触れる、楽しめる機会及びアニメーション業界を目指す者の情報発信できる場を提供し、アニメーションに係る様々な才能の発掘やアニメーション産業・文化の振興・発展を図る。

【成果目標】  
インディーズアニメフェスタを通じた市の認知度の向上

#### 【事業内容】

- ① 事業名：第15回インディーズアニメフェスタ
- ② 開催日：平成29年3月5日（日）
- ③ 開催場所：三鷹市芸術文化センター 星のホール
- ④ 主催：三鷹市、インディーズアニメフェスタ実行委員会
- ⑤ 内容：全国のアニメーション作家や学生の応募作の中から優秀な作品を選び「インディーズアニメフェスタ」当日に上映し、各賞の審査と表彰を行った。上映作品の制作者（アマチュアクリエイター）、審査員（プロのクリエイター）、実行委員との交流の場を設けた。

#### 【その他】

- ① 事業の実施にあたり、市は実行委員会及び委託先と事業内容について事前に十分協議を行った。
- ② 「第15回インディーズアニメフェスタ」は、2日間にわたり開催する「三鷹の森アニメフェスタ2017」の一部として実施した。



【作品募集ポスター】



【当日の様子】

## 三鷹市

三鷹市魅力向上事業 津島家寄託 太宰治資料展Ⅱ～師、友 そして「響応夫人」～

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」事業

事業種別 平成28年6月11日から7月3日まで

事業概要 【事業の目的】  
市民が身近に文学に親しむ環境を提供することで、太宰治をはじめとする三鷹ゆかりの文化人への関心を高めるとともに、「文化の薫り高い三鷹」のまちづくりを推進する。

### 【成果目標】

- ① 「太宰が生きたまち・三鷹」としての市の魅力を広く発信する。
- ② 常時公開施設である「太宰治文学サロン」の入館者数の増加に結びつける。

### 【事業内容】

- ① 事業名：津島家寄託 太宰治資料展Ⅱ～師、友 そして「響応夫人」～
- ② 開催日：平成28年6月11日（土）～7月3日（日）
- ③ 開催場所：三鷹市美術ギャラリー 第三展示室
- ④ 主催：三鷹市、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団
- ⑤ 内容  
平成26年8月に太宰治の遺族から寄託を受けた重要資料と市所有の資料等を合わせ、公開を行った。
- ⑥ 寄託を受けた重要資料  
直筆草稿・絵画やアドレス帳・印鑑等の愛用品など70点以上
- ⑦ その他  
市は公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と効果的な事業実施に向け協議を行った。



【会場の様子】

青梅市

梅の里再生事業

事業種別 まちの魅力「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年11月16日から平成29年3月まで

事業概要 【事業の目的】  
 観梅シーズンにおける観光客の減少を最小限に抑えることを目的とする。  
 【成果目標】  
 梅の里再生計画の進捗状況およびイベントシーズンの来訪者 8,000 名

【事業内容】

① 「発信」事業

観梅シーズンにおける観光客の減少を最小限に抑えるため、梅の里再生に向けた取組について、株式会社ジェイアール東日本企画と連携し、ポスターやリーフレットの作成・配布を行うとともに、PR動画の作成を実施した。作成したPR動画は、JR東日本八王子支社管内の駅構内等のデジタルサイネージにて配信し、観光客数の維持を図った。



【PR用ポスター】



【デジタルサイネージでのPR動画】

② 「活用」事業

平成28年度は、青梅市梅の里再生計画の再生・復興プログラムの初年度であり、一部の地域で、梅の再植栽が認められたことから、梅の里復活への第一歩として吉野梅郷梅まつりを行い、本格的な再生への機運醸成を図った。



【梅の植栽イベント】



【地元小中学生による梅の絵展示】

## 府中市

### 府中×漫画で活性化！事業

|      |   |
|------|---|
| 事業種別 | まちの魅力「活用」事業   |
| 実施期間 | 平成28年4月27日から平成29年2月28日まで  |
| 事業概要 | <p>【事業の目的】</p> <p>市にゆかりのある競技かるたを題材とした漫画「ちはやふる」を活用することで、市外からの多くの観光客を府中に誘致し、観光客の増加とまちの賑わいを創出するとともに、市民の方にも府中への愛着や誇りをより深めてもらう。</p> <p>【成果目標】</p> <p>単年度では、漫画・アニメ複製原画展への来場者数 3,000 名を目標とし、平成29年度までに毎年 20%増の来場者数を目指す。</p> <p>【事業内容】</p> <p>① 漫画複製原画展・アニメ展<br/>漫画複製原画展と併せてアニメ・映画関連の展示を行うことで、アニメファンを取り込み、昨年度を上回る集客を図った。<br/>開催日：平成28年11月12日～13日</p> <p>② ギャラリートーク<br/>原作のかるた会やキャラクターのモデルになった「府中白妙会」や、「前田秀彦」さんをお招きし、ギャラリートークショーを行うことで、競技かるたを通じた「ちはやふる」の魅力を紹介し、ファン層の拡大、市への来訪者の増加、地域振興を目指した。</p> <p>③ 聖地巡礼ツアー<br/>市内で活動するかるた会等に協力してもらい、漫画や映画、アニメに登場する市内聖地を巡るツアーを実施した。</p> <p>④ ちはやふるファンイベント<br/>「ちはやふる」ファンと競技かるたファンと一緒に楽しめるファンイベントを実施することにより、観光客の増加と市内での周遊、更なる地域振興を目指した。</p> <p>⑤ 競技かるたイベントの開催<br/>市内で活動しているかるた会と第60、61期連続クイーンの坪田翼氏との競技かるた模範試合をはじめとしたイベントを実施し、一般の方に本格的な競技かるたを体感していただく機会を創出した。また、競技かるた初心者を対象としたかるた大会を実施し、競技かるたの普及啓発を行った。</p> <p>⑥ 府中ロケーションマップの作成<br/>アニメ「ちはやふる」に登場する場所を示したロケーションマップを作成・配布し、地元商店街とも連携しながら、府中駅や分倍河原駅を周遊してもらう仕組みづくりを行った。</p> <p>⑦ PR<br/>事業についてノベルティグッズの作成やポスター、チラシ、フラッグ等の宣伝物の作成やメディア掲載を行った。</p> |



【漫画・アニメ複製原画展・映画資料展示】



【競技かるた模範試合】



## 昭島市

### 昭島ブランド・フードグランプリ

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成28年11月12日から11月13日まで

事業概要 【事業の目的】  
市内の食品店が、昭島にゆかりのある麺類、揚げ物、ピザ、和・洋菓子など、自慢の創作料理を出品し、来場者の皆様によるコイン投票により、昭島のナンバー1フードを決定する。

【成果目標】  
第5回目を迎える平成28年度は、友好都市である岩手県岩泉町や、近隣市と昭島市の特産物などによるコラボレーション料理を開発するなど、昭島市の魅力を活用し、地域の活性化を図る。

【事業内容】  
市内飲食店19店舗と友好都市店舗として3店舗が出品をした。来場者の皆様によるコイン投票により、昭島のナンバー1フードを決定する。今年も、通常のグランプリとは別に「あきしまの水」シンボルマークのカラーにちなんだ特別賞を3つ設けた。

日時  
平成28年11月12日（土）  
午前10時から午後5時まで  
平成28年11月13日（日）  
午前10時から午後5時まで  
場所  
昭和の森内いちょう並木  
（昭島駅北口モリタウン北側）  
来場者数  
初日 21,000人  
2日目 16,000人  
合計 37,000人



【「あきしまの水」特別賞受賞者】



【フードグランプリ会場】



【岩手県岩泉町出店ブース風景】

## 調布市

### 調布市魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年10月21日から平成29年3月10日まで

#### 事業概要 【事業の目的】

2019年ラグビーワールドカップの開会式と開幕戦が市内東京スタジアム（味の素スタジアム）で開催されることが決定し、翌2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会においても、東京スタジアム（味の素スタジアム）と武蔵野の森総合スポーツ施設で7人制ラグビーやサッカー、近代五種が予定されている。そのため、2019年・2020年の2年間は国内だけでなく、世界各国から多くの人が市を訪れることが想定される。

この2年間に市の魅力を国内外に向けてPRする絶好の機会と捉え、市（及び連携地域等）のPR映像を制作し、広く発信していく。

#### 【成果目標】

映像を外国語にも対応したものとすることで、外国人へのPRを行い、世界各国から多くの人に市（及び多摩地域）を訪れてもらう。また、市の魅力を広くPRすることで、市民の地域に対する愛着や誇りをさらに高めていく。

#### 【事業内容】

平成27年度に実施した調布の魅力に関する市民意識調査と、平成28年度に市独自で実施した外国人を対象とした意識調査の結果をもとに、映像のコンセプトと企画構成案を作成した。「感じる」「知る」「体験する」「触れ合う」という4つのテーマを設け、テーマ別に映像を編集することで、調布のまちの魅力をさまざまな角度から紹介するものとなった。

また、映像制作のために市内スポットやイベントの撮影及び、外国人モデルオーディションを行った。

#### 撮影実績

- ・11月26日 深大寺そばまつり  
神代植物公園
- ・12月4日 布多天神社あかり計画
- ・3月3日 深大寺だるま市



【深大寺そばまつりの撮影の様子】

#### モデルオーディション

調布のスポット等を体験する場面に出演する外国人モデルについて、調布市国際交流協会の会員やモデル事務所へ声を掛けオーディションを行い、男女各1名のモデルを決定した。



【神代植物公園  
の撮影の様子】

## 町田市

### 地域の魅力発信・向上支援事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年2月28日まで

事業概要 【事業の目的】

向上：市内の活動団体が集まる市民協働フェスティバルをより効果的な形で開催することにより、地域に愛着を持つ市民を増やし、地域力の向上へとつなげる。

発信：課題解決のための地域組織である地区協議会の支援を効果的に行うことで、地域に愛着を持つ市民を増やし、組織の継続的な運営と発展を目指す。

【成果目標】

市に愛着を持ち、地域活動の楽しさ、重要性を理解し、積極的に活動に参加する市民を増やす。

【事業内容】

「向上」事業

- ・実行委員会の会合の中で行ったワークショップなどを通して、交流を交えながら協働意識を向上させるためのコーディネートを依頼
- ・実行委員会で行うワークショップや、フェスティバル当日に開催した団体向けの内覧会など、様々な団体が一堂に会し、交流する機会を創出
- ・実行委員会の会議が主体的かつ円滑に進行できるようサポート・フェスティバル当日に、地区協議会の事業紹介を通じた『地域自慢大会 in まちカフェ！』を実施
- ・参加団体向けの企画『団体カアップ講座』を企画・開催

「発信」事業

- ・地域の情報共有・連携に関する勉強会を開催
- ・月一回行う会議の中で、それぞれの地区協議会の情報を共有し、地域の魅力発信のため、状況に応じた支援方法をアドバイス
- ・協働に関する考え方の整理や、今後の地域への支援体制のあり方について検討
- ・地区担当職員のファシリテーション能力向上のための支援
- ・庁内の協働事業に携わる部署を対象に、協働や地域づくりに関する情報共有及び協議



【市民協働フェスティバルの様子】



【実行委員会でのワークショップの様子】

## 小金井市

### チャレンジデー事業

事業種別 まちの魅力「発信」「向上」事業

実施期間 平成28年5月25日

事業概要 【事業の目的】  
生涯スポーツの実現、健康寿命の増進など  
【成果目標】  
長期的な上記目標の契機となるようチャレンジデーの参加率のさらなる増加  
【事業内容】  
平成28年5月25日（水）午前0時から午後9時までの時間帯で市内全域で15分以上継続して運動やスポーツを実施した人数から参加率（平成28年2月1日現在の外国人を含む市人口に占める参加者の割合）を計算し、対戦相手の自治体（今年は秋田県大仙市）と優劣を競う住民総参加型スポーツイベントとして、実施した。  
当日の結果は以下のとおりであった。

● 秋田県大仙市（55.7%） ○ 東京都小金井市（80.6%）

小金井市は、平成27年度に引続いて3年連続3回目の参加となった。昨年度開始した団体事前登録にさらに広範に取り組んだ結果、昨年の75.2%から80.6%と更なる増加となった。初回の教訓から、健闘したものの惜しくも敗戦した昨年からの参加率のさらなる増加により対戦相手の自治体から勝利を挙げることができた。

チャレンジデー事業に参加し、本事業を通じて、日頃運動やスポーツに取り組んでいない人も体を動かし、少しでも健康寿命の増進への契機となればと取り組み、小金井の魅力の向上、発信が一定程度実現できたことから、3回目の今回をもって本事業を終了することとし、今後は、スポーツ推進計画に基づき、生涯スポーツの実現、健康寿命の増進などの課題に取り組んでいきたい。



【当日の様子】



## 小平市

### 小平魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年6月28日から平成29年2月28日まで

事業概要 【事業の目的】  
観光総合ガイドブック（以下「ガイドブック」という。）を作成することで、市の魅力発信力を高めると同時に、作成に参加した市民が、市の良さ、まちの魅力に気づくことにつなげる。

【成果目標】  
本年度の目標は、ガイドブック作成と市の魅力発見と発信が主なものであったが、翌年度に、ガイドブックを活用した「まち歩きガイド」の養成及び「まち歩きツアー」を実施し、同ツアーにおいて参加者アンケートを行い、半数以上の満足が得られることを目標としている。

【事業内容】  
平成28年6月に「小平市観光まちづくり振興プラン」推進のための体制として「こだいら観光まちづくり協会」（以下「協会」という。）が設立された。  
事業内容は、現在、市等において作成している観光に関連する複数のマップを統合し、市の魅力を1冊に凝縮した観光総合ガイドブックを作成（2万部）することで、これまで以上に、市の魅力発信力を高めるものである。  
ガイドブックは、協会と市が共同で企画製作し、ボランティア（市民）もワーキンググループ（全8回開催）として参加しており、作成過程を通じて、市民が、市の良さ、まちの魅力に気づく機会となった。



【ワーキング風景】



【観光総合ガイドブック表紙】

## 日野市

### 日野人ちよこっと散歩会

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成28年4月18日から平成29年3月29日まで

事業概要 【事業の目的】  
運動習慣のない高齢者を対象とし、継続的な運動習慣の確立と、仲間作りを目的とする。  
【成果目標】  
アンケート調査を行い、事業後も運動やスポーツを実施したいと思う方が70%を超えることを目標とする。

#### 【事業内容】

日野市で取り組むヘルスケア&ウェルネス戦略の一つの取組として、日野市と市内大学等が連携し、市民に対して運動指導を行う。対象は市内でも高齢化が進む2地域とし、一年ごとに対象地域を変え、ひとりでも多くの市民が参加できるような仕組みづくりを考えた。将来的にその地域で独立した組織を構えるまでに成長することを期待する。大学等の学術的な見地から高齢者にも比較的負荷が少ない、ウォーキングやストレッチ等の運動処方を施し、科学的な考察からひとりひとりに最も適した運動処方を提案した。

地域の仲間と一緒に活動することで、健全な地域コミュニティの育成が図られ、運動をする上で一番懸念される『継続』に対する、一助としても効果が期待できる。

また、対象地区それぞれで大学等の強みである研究分野からのアプローチを行い、地域住民への運動処方を行った。



【地域の大学との連携】



【体操指導の様子】



【ノルディックウォーキングの様子】

## 日野市

### 水都日野わがまち活性化業務

|      |   |
|------|---|
| 事業種別 | まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業   |
| 実施期間 | 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 2 月 29 日まで   |
| 事業概要 | <p><b>【事業の目的】</b><br/>日野市の 50 年後の将来像を描いた日野ビジョン 50 日野曼荼羅では、「水」は日野の宝であることが再認識され「水都日野」が提唱された。水都日野構想へ向けた第 1 歩として 25 年度、次世代に伝えたい「水辺のある風景日野 50 選事業」を実施した。これら 50 か所はまちの魅力であり、その魅力を向上・発信・活用することを目的とする。</p> <p><b>【成果目標】</b><br/>① 小中学校と連携し標柱設置。<br/>② フェイスブックによる情報発信</p> <p><b>【事業内容】</b><br/>① 「向上」事業<br/>小中学校 2 校と授業で連携し、子どもの目線・視点から現地に標柱（案内オブジェ）を設置（助成対象経費外）した。滝合小学校、（3 か所）、第一中学校（3 か所）。1 か所あたり 3 本程度標柱を設置。子供たちへの導入授業、現地スケッチ、作品作りの授業に積極的に関与している。</p> <p>② 「発信」事業<br/>標柱には QR コードを設け、フェイスブックで水辺の魅力を発信。「水辺のある風景日野 50 選」でフェイスブックで検索可能とした。</p> |



【現地スケッチ】



【授業の様子】



【子どもたちが作成した陶板】

## 東村山市

### シティプロモーションの推進

事業種別 まちの魅力「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年2月28日まで

#### 事業概要

##### 【事業の目的】

東村山駅前の看板に市の「ブランドメッセージ&ロゴマーク」を掲示することで、東村山の魅力を発信し、シティプロモーションの機運醸成を図ることを目的とする。

また、「東村山市シティプロモーション基本方針」において主なターゲットとしている若年層の来訪を促進するイベントを実施し、市の認知度向上を目指す。

さらに、住環境等、複数の領域から当市の特徴を紹介する冊子「ウェルカムガイド」を作成し、市内外で配布することにより、当市への転入を促進し、定住人口及び交流人口の増加を図る。

##### 【成果目標】

シティプロモーションの進捗度合いを測ることを目的としているため、平成27年度に実施した「シティプロモーションアンケート調査」を基準値とする。

##### 【事業内容】

#### ① 「ブランドメッセージ&ロゴマーク」の掲示について

東村山駅東口前の看板に「ブランドメッセージ&ロゴマーク」を掲示した。サブメッセージも盛り込み、ブランドメッセージに込められた思いも伝えられるデザインとした。

#### ② イベントの実施について

特産品に触れながら、市内のパワースポットを巡るイベントを開催した。市民のボランティアにスタッフとして携わっていただき、市内事業者にも出店や参加者への特典等でご協力いただいた。

##### ・イベント名

「東村山で何かが変わる！？多摩屈指のパワースポット巡り」

##### ・日時 平成28年11月3日（文化の日）

##### ・参加人数 712名

#### ③ ウェルカムガイドの作成について

当市での暮らし、子育て、食、イベント等を紹介する冊子「ウェルカムガイド」を15,000部作成し、市内外で無料で配布。



【イベントの様子】



【ブランドメッセージ&ロゴマーク】



## 国分寺市

国分寺市×宇宙 まちに眠る魅力発掘事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年4月から平成29年3月まで

事業概要 【事業の目的】

「日本の宇宙開発が始まったまち」という他自治体との明確な差別化を図ることができる資源を活かした事業を展開し、市民の市に対する愛着と誇りを醸成するとともに、地域が活性化することを目的とする。

【成果目標】

「国分寺市は日本宇宙開発発祥の地」であることが市全体の中で認知されているとともに、新たなまちの魅力として位置づけられ、ペンシルロケットや宇宙にちなんだ商品が市内で開発・販売されるなど、行政だけでなく商工業者も含め、全市的なレベルでまちの魅力発信が展開されていることを目標とする。

【事業内容】

- ① JAXA 筑波宇宙センター見学ツアー
- ② 子ども向け工作教室
- ③ プロモーションムービーの作成、発表
- ④ 特設サイトおよび SNS の運用
- ⑤ 打ち上げパブリックビューイング  
※ロケット打ち上げが延期となったため、トークショーへ変更
- ⑥ 星空観望会
- ⑦ トークショー
- ⑧ 映像プログラム Mitaka の解説付き上映



【JAXA 筑波宇宙センター見学ツアー】



【子ども向け工作教室】



【星空観望会】



【大西卓也宇宙飛行士  
応援スペシャルトークショー】

国立市

LINKくにたち2016

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成28年5月15日

事業概要 【事業の目的】

『365日24時間安心・安全のまちづくり』を実現させるためには、行政がサービスを提供するだけでなく、市民や団体が繋がり、お互いに支えあう仕組みを作り上げていくことが必要であり、本企画は市を代表するメインストリートである大学通りにて、市民が協力して様々なチャレンジをすることで、連帯感や達成感を共有し、市民同士の繋がりを強めることを趣旨とする。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、スポーツに親しみを持ってもらうことを目的として、イベントの内容は運動会をイメージしたものとする。

【成果目標】

来場者数5,000名

【事業内容】

- ① 大学通りの南北をチーム・リレー形式で往復する「リレーマラソン」  
1025名（169チーム）参加
- ② 市内のダンス教室が舞台を使用して「ダンス」を披露。市の歌をアレンジした「くにニャンダンス」も行った。
- ② 東京女子体育大学・東京都多摩障害者スポーツセンターによる「スポーツ体験コーナー（お気軽体力チェックや競技用車いす体験など）」  
6種目 計712名参加
- ③ 市内の小学生が参加した「わんぱく相撲大会」  
43名参加
- ④ 市内の商店が出店した「もぐもぐゾーン」  
29店舗出店



【リレーマラソンの様子】

## 福生市

### まちの魅力発信支援委託事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

#### 事業概要

##### 【事業の目的】

年間をとおして市内外に福生市の魅力(地域資源)を発信し確実な伝達と理解の獲得を目的として、広報(PR)活動を行う。

##### 【成果目標】

広告換算としてメディアリリースに関する費用の3倍以上の効果上げる。

##### 【事業内容】

#### ① 広報PRに関するコンサルタント

情報発信の強化を目的とした職員向けの広報PRについての情報共有や助言及び協議の場を設け、111人の職員が参加した。

#### ② プレスリリース作成(取材原稿作成) 年12回程度を作成及び配信

#### ③ 情報紙「福生ライフ」(31,000部)を制作し市内全戸配布を実施

いろいろな人や知識が入り出る地域資源である図書館について特集した。

#### ④ まちの魅力発見・発信映像作成およびPR活動の実施

福生市のPR映像の企画段階からその後のプロモーションを考慮し、映像制作ならびにPR活動を実施。

「福生市プロモーション動画「What's Up Fussa」

若者に人気のあるヒップホップアーティストを起用し福生の魅力をラップにしたPR映像を制作。また、加藤市長をはじめ、のべ100人を超える市民が映像に出演した。映像は平成29年1月15日からYouTubeサイト「福生市メディアラボ」で公開した。また、SNSを活用したプロモーションや渋谷駅スクランブル交差点にある屋外ビジョン「Q'sEYE」、中央線トレインチャンネルで放映し積極的なPR活動を実施した。

#### 【福生ライフ 第4号表紙】



YouTubeでの再生回数は  
60,000回を超えました



【加藤市長も出演】



【のべ100を超える市民が出演】

【屋外ビジョン  
「Q'sEYE」で放映】



## 狛江市

### まちの魅力を再発見「狛江郷土カルタ」作成事業

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成 28 年 7 月中旬から平成 29 年 2 月まで

#### 事業概要 【事業の目的】

狛江市の歴史や文化財を題材としたカルタを作成し、学校等で活用することで、市民がまちの魅力を再発見することにより、地元への愛着を高めることを目的とする。

#### 【成果目標】

市民がまちの魅力を再発見することにより、市後期基本計画における指標「市の歴史や伝統に関心を持ったり見聞きしたことがある市民の割合」について、現状値（平成 25 年度）62.2%からの上昇を見込んでいる。

#### 【事業内容】

事業 2 年度目の今年度は、まず、カルタの読み句に対応する絵札（取り札）を作成した。絵札は、市のセールスポイントの一つである絵手紙を活用し、市内で絵手紙の普及に努めている「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会と協力して作成した。また、カルタ作成事業を広く周知するため、市広報・市 HP 等で参加者を募集し、絵手紙教室を 2 回実施した。絵札の完成後は、読み句の解説を作成して小冊子を編集し、カルタと解説小冊子をセットとする「狛江郷土カルタ」を印刷、作成した。

#### ・絵手紙教室

実施日 ①10 月 30 日（日）、②11 月 20 日（日）

参加者数 ①20 名（内小中学生 15 名）、②17 名（内小中学生 13 名）

講師 「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会

会場 狛江市立古民家園



【絵手紙教室の様子】



【絵札となる絵手紙】



## 狛江市

### チャレンジデー事業

事業種別 まちの魅力「向上」事業

実施期間 平成 28 年 5 月 25 日

#### 事業概要

##### 【事業の目的】

複数の自治体が参加する住民参加型のスポーツイベントへ参加することにより、市民の中でスポーツの習慣化を促進するとともにスポーツ人口を増加させることで、まちの魅力の向上を図ることを目的とする。

##### 【成果目標】

市民のスポーツに対する意識の向上を目指すとともに、今までスポーツに親しみのなかった市民を取り込むことで、市後期基本計画に設定されている指標「週に1回以上の頻度でスポーツ活動をしている市民の割合」について、平成31年度の目標値である50%の達成を目指し、現状値（平成27年度）38.9%からの更なる底上げを目指す。

##### 【事業内容】

笹川スポーツ財団が実施する毎年5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までに、継続して15分以上の運動を行った人の割合を、同規模の自治体間で競うスポーツイベント「チャレンジデー」に参加する。市民の参加を促すため、チラシの全戸配布等の周知活動に力を入れ、当日は、市内体育施設等でスポーツプログラムと称し、様々なスポーツを気軽に参加できるプログラムを展開する。

2回目の挑戦となった今年度は、前回の反省を踏まえ、人が集まるイベントの実施及び参加報告しやすい環境づくりをテーマに工夫を凝らし実践した。具体的には、女子バレーボールオリンピックや対戦相手である山形県米沢市に縁のある芸能人等を招致し、開会式や講演会及び教室等を実施した。参加報告については、駅の改札付近に特設ブースを設置し、多くの参加報告を集めることができた。

最終参加者数は41,028人、参加率51.2%、対戦相手の山形県米沢市を上回り勝利した。また、前回と比較し一番参加率がアップした自治体に贈られる「参加率アップ賞」も受賞した。（対戦相手：山形県米沢市 参加者21,412人、参加率25.6%）

対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚し、相手の健闘を称えるというルールだが、今回は、勝敗に関係なく互いの健闘を称える意味で、翌日から1週間互いの市旗をそれぞれの庁舎に掲揚した。



【開会セレモニー&トークショー】



【ボッチャの様子】

## 狛江市

### こまえの魅力創作展事業

事業種別 まちの魅力「向上」事業

実施期間 平成28年7月1日から平成29年3月12日まで

事業概要 【事業の目的】

狛江をテーマにした作品の創作勸奨、募集、展示等を通じて地域の魅力を再発見し、地元への愛着を高めるとともに、こまえの魅力の市内外への発信に繋げることを目的とする。

【成果目標】

事業参加者数について、前年度実績（26人42作品応募）を大幅に上回るようテーマ設定等を工夫して行う。また、創作応募以外にも展示を通じてより多くの市民に親しみを持たれるよう、新たな手法を検討する。

【事業内容】

平成28年度は「創作文章（キャッチコピー）」の募集を行った。応募作品は市庁舎ロビー等で展示し、公民館利用者以外にも広く目に触れる機会を創出するとともに、応募作品の中から一般投票と選考会により優秀作品を選考した。優秀作品については表彰式を行い、制作者に記念品を贈呈するとともに、今後、公民館での展示や公民館事業用ポスター・チラシ、公民館だより、活動記録（表紙）等の各種印刷物の作成時に使用するなど積極的な活用を図る。

- ・応募期間：7月1日～9月30日
- ・応募総数：64人（411作品）
- ・作品展示：11月～3月
- ・作品選考：12月15日、表彰：3月12日



【展示の様子】



## 狛江市

### 狛江古代カップ多摩川いかだレース

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成 28 年 7 月 17 日

事業概要 【事業の目的】  
イベントの魅力を上向きさせるレベルアップ事業を実施することで集客増を図り、効果的なまちの魅力の発信を目指すことを目的とする。

【成果目標】  
更なる狛江の魅力の発信に加え、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成、狛江ブランド野菜の認知向上を成果として見込んでいる。また、数値的な成果としては、平成 29 年度の当イベントの来場者数 12,000 人を目標とする。

【事業内容】  
本事業は、1990 年に市制施行 20 周年記念行事として初めて開催された多摩川を舞台とした手作りいかだによる迫力と興奮のレースを展開するイベントとして、平成 28 年度で第 26 回を数え、狛江の魅力を市内外に発信するイベントであり、関東各地からの参加チームもあり、いかだレースとしては最大規模を誇る。

今年度も、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を兼ねて、オリンピック（アルベールビル・リレハンメルオリンピックスキージャンプ複合団体金メダリスト）の荻原健司さんも参加した。開会式でのあいさつに加え、狛江市長、タレントのダニエル・カールさんとともに実際にいかだに乗っていただき、大いにイベントを盛り上げていただいた。また、狛江産野菜の PR を兼ねて、ゴール地点では枝豆等の狛江ブランド野菜の物販を含めたビアガーデンを開催した。今年度は住民交流友好都市である山梨県小菅村との友好都市締結 10 周年にあたり、10 周年記念事業として大菩薩御光太鼓の演奏を行った。

当日は 95 チームの参加、約 10,000 人の参加者があり、狛江ブランド野菜も完売する等、大盛況であった。

- 開催日 平成 28 年 7 月 17 日（日）
- 開催場所 多摩川五本松～宿河原堰手前（約 1.3 キロメートル）



【レースの様子】

東大和市

ここがふるさと・東大和の魅力発見・発信し隊事業

|      |  |
|------|--|
| 事業種別 | まちの魅力「発信」「活用」事業  |
| 実施期間 | 平成28年5月中旬から29年2月上旬まで   |
| 事業概要 | <p>【事業の目的・成果目標】</p> <p>1年目の研究成果を踏まえて、候補に挙げた素材を選定し、発信する手法・仕組みづくりなどをする。ワークショップ等の実践により、市民が主体となるような事業を展開していく。</p> <p>市民が事業を具体化できるようにリーダー育成の講座を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>まちの魅力発信事業としてポータルサイト、活用事業としてコミュニティスペース、まちの魅力アップの3講座を実施した。</p> <p>「活用」事業</p> <p>&lt;コミュニティスペース・まちの魅力アップ合同開催&gt;全4回</p> <p>① 6月4日(土) オリエンテーション、年間計画</p> <p>② 6月30日(木) 今年度、自分がこの講座で何をしたいのかについて</p> <p>③ 10月27日(木) イベントの告知、参加者への協力の促し方を学び広報(チラシ・ポスター)を作成するワークショップ</p> <p>④ 12月8日(木) 「やりたい事を組織で動かす」(ワークショップ形式のオープンセミナー)</p> <p>&lt;まちの魅力アップコース&gt;全6回</p> <p>① 7月28日(木) 実施したいテーマ洗い出し、目標設定</p> <p>② 8月25日(木) 地域活動モデルについて学習、実践方法について対話</p> <p>③ 9月29日(木) 問題意識の共有、今年度の実践について意見交換</p> <p>④ 12月1日(木) 公開学習会①「まちのみらいカフェ 空堀川」<br/>環境問題に取り組む地元企業をゲストに事例発表とカフェトーク</p> <p>⑤ 12月22日(木) 公開学習会②「まちのみらいカフェ 商工会」<br/>商工会の職員の事例発表とカフェトーク</p> <p>⑥ 1月19日(木) 公開学習会③「まちのみらいカフェ 食」<br/>産業振興課と食で起業したゲストの事例発表とカフェトーク</p> |

【公開学習会の様子】



【講座でのワークショップの様子】



- <コミュニティスペースコース>全6回
- ① 7月28日(木) なぜコミュニティスペースが必要なのか
  - ② 8月25日(木) 実地見学会 国立市「やぼろじ」
  - ③ 9月29日(木) 今後実践するコミュニティスペースミニイベントにつ



いて

- ④ 12月1日(木) 実践したミニイベントの分析と次回の企画・準備
- ⑤ 12月22日(木) 活動と理念を振り返り、見本市の発表内容の企画
- ⑥ 1月19日(木) ミニイベント開催で気づいた事、感じたニーズ、ミニイベント企画

《講座受講者が自主開催したミニイベント》3回

- ① 11月18日(金) 手抜きママのハッピータイム(持ち寄り食事会)
- ② 12月9日(金) ぷれいらんど@東大和(広場で思いっきり遊ばせよう)
- ③ 2月25日(土) 子連れリフレッシュカフェ in 富士見湯健康銭湯

「発信」事業「発信」事業

＜ポータルサイトコース＞

受講者と新規の参加者を対象に講座を実施。同時に助成事業終了後の自立を目指して、組織作りの議論や人材育成の経験を積み重ねた。

- 1. 東大和どっとネット ブラッシュアップ講座  
昨年度からグレードアップした使い方の習得  
平成28年5月14日(土)～8月6日(土) 全4回
- 2. WORDPRESS リーダー講習会  
サイト運営の中心的メンバー向けの実務研修  
平成28年5月18日(水)、6月1日(水) 全2回
- 3. 講座「あなたも発信！ポータル「東大和どっとネット」から」  
広く外からつながる人材発掘をした。

- ① ガイダンス  
11月29日(火)
- ② 市民レポーター養成講座：サイトに  
投稿できる人材育成 各3回  
土曜日コース  
12月3・10・17日(土)  
火曜日コース  
12月20日、平成29年1月  
10・24日(火)
- ③ 地域プロガー説明会 全2回：市内の  
情報発信している人・団体との連携  
1月17日(火)、1月21日(土)



【ポータルサイト  
「東大和どっとネット」】



【発信・発信し隊 見本市】

「活用」「発信」事業

＜発信・発信し隊 見本市＞

2月5日(日) 中央公民館ホールにて実施  
午前：見本市(2年間の成果・3年目への展望を発表 各コースがブース出展して、活動内容を市民に見せ、仲間を募った。)

午後：ワークショップ(他コースの受講者との意見・情報交換をして、相互に連携しながら、それぞれが着実に成長できる方策を考えた。)

清瀬市

清瀬市シティプロモーション推進事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年5月30日から12月17日まで

事業概要 【事業の目的】

①市民を交えた調査等を実施し、まだ発掘されていない地域資源の掘り出しを行う。その結果を踏まえ、今後のシティプロモーションの方向性を探ることを目的とする。

②文庫本購入者に広告塔となってもらい、結核歴史展への集客へと繋げる。

【成果目標】

①上記の事業の結果を受け、市のシティプロモーションの具体的な方向性を示した指針を作成し、来年度以降の市の魅力発信事業に活用する。

②結核歴史展の来場者数2,000名

【事業内容】

①市民アンケートの実施・市民ワークショップの開催

市民2,000人を無作為抽出し、アンケートを実施した。新たな地域資源の発掘や、既存の資源の生かし方などを探った。

また、公募の市民によるワークショップを開催した。新たな資源を探り、その資源をもとにした魅力の発信方法などを検討した。



【第1回ワークショップ討議風景】



【ポストイットでの地域資源発掘】

②結核啓発文庫本ブックカバー・しおりの作成、頒布

平成29年2月3日～12日まで行われた「清瀬 結核の歴史展」に先立ち、これまで結核撲滅に向けて歩んできた当市の長い道のりを非常に尊く貴重な資源として位置付け、現在も恐ろしい病である結核の予防思想の普及を図るため、公益財団法人結核予防会と協働し、PR・予防啓発用文庫本ブックカバーとしおりを作成・配布した。配布は、昨年9月24日からの結核予防週間を中心に、池袋本店を始め23区内11か所



【ブックカバー及びしおり】

## 東久留米市

### 東久留米市ブランド認定ならびに広域発信事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年6月18日から12月28日まで

#### 事業概要 【事業の目的】

東久留米市は駅前を中心とした宅地開発が進む一方、環境省による平成の名水百選に「落合川と南沢湧水群」が選定されるなど市民の生活と自然が融合した立地であり、武蔵野の自然を色濃く残している。また、市内各所に農地が残されており、市では直売所と呼ばれる軒先販売や学校給食への利用等を通して地場産野菜の消費の推奨を行っている。

このような地域資源及び地域の特性を活かし、消費者に支持され愛着を持たれる商品・製品・サービスを認定することにより市内外に情報を発信し、市の知名度を高め、産業の振興及び地域の活性化に資することを目的として、東久留米ブランド認定事業を実施した。

#### 【成果目標】

平成28年度は、飲食メニューの20品目をブランド認定する。また、ブランド認定事業を通して地域に密着した飲食メニューの発掘、育成を行うとともに、平成27年度認定の「食品・菓子」認定品を含め、ブランド認定品を活用したイベントとのタイアップやネットによる情報発信等を行い、市の知名度向上を目指す。

#### 【事業内容】

平成28年度は「飲食メニュー」を対象に実施

①東久留米市ブランド認定委員会を立ち上げ、認定基準の決定ブランドメニューの公募、認定を実施。

②平成27年度に公募、採用したブランドロゴマークを引き続き利用し、東久留米ブランドの浸透を図った。

③ブランドメニューは10事業者から12品の応募があり、審査の結果、5品を認定。

④各認定事業所にて認定証と記念品の交付式を実施。

⑤東久留米ブランドの周知活動

- ・ブランド認定品を掲載した冊子を作成し配布した。
- ・のぼり旗を作成し、認定商品取扱店をアピールした。
- ・ホームページやツイッター等を利用し、周知を図った。

⑥東久留米市ブランド認定品を詰め合わせた「東久留米ギフト」の販売を実施し、75セット販売した。

⑦東久留米ブランドラリーを実施し、応募者に抽選でブランド商品券やスペシャルギフトを送った。

⑧各種催事への出店、ケーブルテレビでの放映等で東久留米市のPRとブランド認定の普及に努めた。



【ロゴマーク】



【交付式】

## 武蔵村山市

### 武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合事業

事業種別 まちの魅力「向上」事業

実施期間 平成28年9月17日

#### 事業概要

##### 【事業の目的】

軟式野球の普及・発展及び軟式野球を通じた地域の親善・活性化のため。また、市の特色あるスポーツイベントとして、市内外に積極的にPRし、「スポーツ都市 武蔵村山」の魅力を高めるため。

##### 【成果目標】

世代を超えたスポーツへの取り組みが定着することにより、地域の交流ができ、スポーツ都市としての文化が芽生える。また、市民一人ひとりがスポーツへの関心を高め、市民のスポーツ実行率の向上を目標とする。

##### 【事業内容】

軟式野球の普及・発展及び軟式野球を通じた地域の親善・活性化のため、市内の少年野球チーム・古希軟式野球チームによる親善試合を開催した。

また、元プロ野球選手を4名招き、少年野球教室や市民を対象とした講演会を開催した。

#### ①親善試合

市内少年野球連盟選抜チーム、古希軟式野球選抜チームによる試合を行った。(7イニングまたは1時間20分まで)

#### ②技術指導

少年野球チームを対象に、講師による野球指導を行った。  
(参加者121名、1時間30分)

#### ③講演会

講師による講演「私の野球人生～I LOVE ベースボール～」を行った。(参加者249名、1時間20分)



【少年野球教室風景】



【試合風景】



【講演会風景】



## 多摩市

### せいせきみらいフェスティバル

|      |  |
|------|--|
| 事業種別 | まちの魅力「向上」「発信」事業  |
| 実施期間 | 平成28年9月18日(日)  |
| 事業概要 | <p>【事業の目的】</p> <p>平成23年度以降休止している「せいせき多摩川花火大会」の新生復活に向けた市民組織「せいせきみらい活性化実行委員会」に事業費を補助し、同実行委員会の実施する子どもから高齢者まで誰もが楽しめる活性化イベント「せいせきみらいフェスティバル」により、まちの魅力を向上させる。</p> <p>【成果目標】</p> <p>聖蹟桜ヶ丘への地域への来街者の増加</p> <p>【事業内容】</p> <p>①開催日時 平成28年9月18日(日)午前10時～午後7時23分<br/>※実行委員会は4月から毎月実施(必要に応じて担当ごとに打ち合わせ等を実施)</p> <p>②主催 せいせきみらい活性化実行委員会(後援：多摩市、協力：K AOFES)</p> <p>③会場 一ノ宮公園(多摩川河川敷・関戸橋上流)</p> <p>④内容 模擬店(10:00～18:30)<br/>PR展示(10:30～18:30)<br/>ステージ(16:00～19:23)(地元太鼓団体による演舞、地元お囃子団体による演奏、マウンテンバイクによるアクロバティック演技、電子ドラム・ピアノ演奏、花火打ち上げ、前田由紀「夏祭り」ライブ)</p> <p>⑤事前の活動 クラウドファンディングの活用(実施期間：6月23日(木)～8月20日(土)、目標額：800,000円)、募金活動、小学生による手書きポスターの募集と掲出場所(京王ショッピングセンター連絡ブリッジ、桜ヶ丘周辺商店会店舗、当日会場掲出)、ホームページ・フェイスブックの活用による事前告知</p> <p>⑥実行委員 25人(商店会代表、民間事業者、個人)</p> <p>⑦来場者数 延25,000人</p> <p>⑧広報活動 記者発表(6/23)たま広報掲載(5/5号：クラウドファンディング、9/5号：開催告知)、魅力発信サイト丘のまち掲載(8/24)、せいせきみらいフェスティバルホームページ・フェイスブック、チラシ・パンフレットほか</p> |



【児童館でのポスター制作】



【太鼓演舞】



【花火】

## 稲城市

### 観光推進事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業

実施期間 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

#### 事業概要 【事業の目的・成果目標】

市の魅力を活用する以下の事業を実施することによって、市の魅力を発信し、市を訪れる人が増加することによって、市への定着人口を増やし、市の魅力の向上を目指す。

#### 【事業内容】

##### ①観光PRポスター等

平成 27 年度とは別の視点で、観光PRポスター等を作成し、市内外に掲示することにより、市の魅力を発信する。

(作成枚数 100 枚)

##### ②大河原邦男プロジェクト

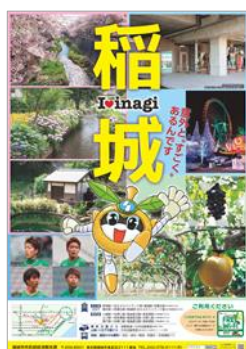
ガンダムなどのデザインをされた大河原邦男氏(市在住)の作品を使用し、市の魅力の発信、魅力の向上を図る。

- ・市内観光地等を背景とし、大河原邦男氏のデザインされたメカを配置したメインビジュアルを作成する。

- ・大河原氏に作成いただいたメインビジュアルをポスター等にして、市内外で掲示配布する。

(作成枚数 100 枚)

- ・平成 28 年 4 月 23 日実施、「いなぎ発信基地ペアテラス」のオープン及びガンダム・ザクモニュメントの初披露式について、大河原邦男氏ほかアニメ声優の方などに出演いただき記念式典を開催。



【市観光 PR ポスター】



【「いなぎ発信基地ペアテラス」  
オープン記念式典】

## 羽村市

### はむらの魅力創出事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年4月25日から平成29年3月31日まで

#### 事業概要 【事業の目的】

市の認知度向上と交流人口・定住人口の増加を生み出すため、羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画に基づき、羽村市の魅力発信事業に取り組んだ。

#### 【成果目標】

平成31年度に以下の順位を上回る。

- ①羽村市の認知度：地域ブランド調査 全国 695 位（平成26年度）
- ②羽村市の魅力度：地域ブランド調査 全国 873 位（平成26年度）

#### 【事業内容】

特定のターゲットとして設定した20代・30代の若い世代に、的確に市の魅力を発信することとし、各事業に取り組んだ。

- ①公式PRサイト「愛情ギュッとず〜っとはむら」公開  
子育て家族の写真とコメント、子育てに関するサポートや主な施設、イベントなど、若い子育て世帯が必要とする情報をまとめたPRサイトを公開した。
- ②魅力を発信するポスター・チラシの作成・配布  
市のブランド「東京で子育てしやすいまち」をPRするポスターやチラシを作成し、広く配布した。
- ③公式キャラクター「はむりん」の活用  
市内外のイベントに出演（平成29年1月末現在101事業）するとともに、PRグッズを製作し、PRに取り組んだ。



愛情 \ ギュッ / と  
ず〜っとはむら  
はむら  
東京で子育てしやすいまち

愛情はむら  
東京で子育てしやすいまち

【羽村市公式PRサイト  
「愛情ギュッとず〜っとはむら」  
「愛情はむら」で検索



【世界キャラクターさみっとに出演】



【ブランド発信チラシ】

## あきる野市

### 秋川渓谷観光統計・プロモーション事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年6月11日から平成29年3月31日まで

事業概要 【事業の目的】

秋川渓谷のブランド化を図り「観光都市あきる野」を実現する。

【成果目標】

平成27年度に実施した観光実態調査の結果に基づき、首都圏の大型商業施設等にて観光プロモーションを実施することで、「秋川渓谷」の知名度の向上及び来訪者の増加を図る。

【事業内容】

観光プロモーションイベント

①秋川渓谷観光キャラバン「カワライフ 2016 - 森のしずく - 」

場所：横浜赤レンガ倉庫イベント広場A

日時：平成28年6月11日（土）及び12日（日） 両日とも12：00から16：00まで

来場者数：約10,000人

実施内容：観光パンフレットの入ったエコバックの配布、VRによる秋川渓谷仮想現実体験の実施、アンケート及び抽選会実施、各出店者のPRブース設置、森っこサンちゃんグリーティング

②秋川渓谷観光キャラバン「カワライフ 2016-森のめぐみ-」

場所：イオンレイクタウン越谷 KAZE2 階イベントスペースB、C

日時：平成28年10月15日（土） 12：00から16：00まで

来場者数：約2,500人

実施内容：観光パンフレットの入ったエコバックの配布、VRによる秋川渓谷仮想現実体験の実施、アンケート及び抽選会実施、各出店者のPRブース、森っこサンちゃんグリーティング、JAFブース出展



【赤レンガ倉庫前でのイベント】



【VRによる仮想現実体験】



【イオンレイクタウン越谷でのイベント】



【観光パンフレットの入ったエコバックの配布】



## あきる野市

### 市民体力向上推進事業

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成 28 年 4 月 13 日から 6 月 29 日まで

事業概要 【事業の目的】

「あきる野市スポーツ推進計画」では、スポーツ都市あきる野の実現を基本理念に、「誰もが元気でスポーツに親しむ健康なまち」を目指しており、その取組の一つとして、無理なく継続して手軽にできるラジオ体操を推奨している。ラジオ体操を正しく身につけることで、健康の維持・増進を図り、健康寿命の引き上げを図る。

【成果目標】

正しいラジオ体操を普及させるため、各地区の市民指導員の育成を図り、市内各所で正しいラジオ体操の講習会の場を増やすことで、気軽にスポーツに触れることができる機会をつくり、多くの市民のスポーツや健康に対する意識の向上を図る。

【事業内容】

多くの市民へ正しいラジオ体操の普及活動を進めるため、ラジオ体操指導者養成講習会を開催し、市民指導員の育成を図った。

開催期間 平成 28 年 4 月 13 日（水）～6 月 29 日（水）  
※うち計 10 日間

実施会場 五日市ファインプラザ

受講人数 161 人（10 日間延べ 1,426 人）  
※全国公認 3 級指導員資格取得者数 69 人

参加対象 あきる野市及び近隣市町村ラジオ体操愛好者  
内 容 講師によるラジオ体操指導者養成講習会  
（左右逆の動作、声かけの基本など）



【ラジオ体操指導者養成講習会の様子】

西東京市

めぐみちゃんメニューフェスタ

事業種別 まちの魅力「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年5月25日から平成29年3月9日まで

事業概要 【事業の目的】

地域資源を活用した農商工業者の連携による地産地消の取組である、めぐみちゃんメニューの市民への周知拡大を図り、農業振興を図るとともに、地域経済の活性化を目指す。

【成果目標】

マルシェ来場者数 延べ1,000名  
 グルめぐキャンペーン アンケート回収400通  
 直売所キーワード探し参加者 40名

【事業内容】

①キャラクターグッズ作成

- 1) めぐみちゃんエコバッグ(150枚制作)マルシェ等で配布した。
- 2) めぐみちゃんボウル&コップセット(30個制作)

直売所にあるキーワードを見つけ応募いただいた方の中から抽選で30名に、プレゼントした。

②めぐみちゃんメニューフェスタ

1) グルめぐキャンペーン

実施期間：平成28年7月23日  
 から10月29日

参加状況：参加飲食店：18店

参加者(アンケート回答数)：339名

2) めぐみちゃんメニュー 直売所キーワード

実施期間：平成28年7月23日  
 から10月1日

参加状況：参加農業者28名中、個人直売所を持つ農業者24名

参加者(応募者数)：129名

3) いこいの森マルシェ

場所：西東京いこいの森公園  
 日時：平成28年11月26日  
 来場者 約250名

4) マルシェ・ド・ソワレ計3回

日時 平成28年11月17日、平成29年1月26日・2月16日  
 場所 保谷駅南口(2回)・田無駅北口  
 来場者 約200名・約300名・約300名



【ボウル&コップ】



【ポスター】



【マルシェ・ド・ソワレ】

## 西東京市

### 文化財を活用した西東京市の魅力発見・発信事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」事業

実施期間 平成 28 年 4 月 25 日から平成 29 年 2 月 28 日まで

事業概要 **【事業の目的】**  
下野谷遺跡の展示などを含む郷土資料室の整備と活用を行う。  
郷土資料室を市民活動の場としても活用し、協働事業などを行い、市民力・地域力の向上を推進する。

**【成果目標】**  
郷土資料室の来室者数の増加（年間 2,000 名→3,000 名）

#### 【事業内容】

##### ①「向上」事業

下野谷遺跡の出土資料の展示など、郷土資料室の展示を整備、改良し、郷土資料室を、多くの人々が集まる、郷土の歴史・文化の保護と発信のコアステーションとする。

整備、改良の一環として、下野谷遺跡の出土遺物を含む収蔵品の復元・修復を行う。

##### ②「発信」事業

郷土資料室での文化財講座の実施。

下野谷遺跡の出土品をはじめ、歴史資料、民具、古写真などの実物を活用しながらの講座を企画し、郷土資料室の周知拡大とまちの宝である文化財の魅力を伝える。



【郷土資料室での文化財講座実施風景】

## 瑞穂町

### 東京みずほブランド事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年2月28日まで

#### 事業概要 【事業の目的】

平成24年度より町の区域内で生産又は製造される食品、工芸品、農産物等を東京みずほブランドとして認定し、広く宣伝することにより、町内産業の振興に寄与するとともに、郷土愛の精神及び町民意識の高揚を図ることを目的とする。

#### 【成果目標】

東京みずほブランド事業は、認定商品が周知され町外からの交流人口が増えることで地域産業及び観光産業の発展が期待される事業である。

また、町の第4次長期総合計画では「自立と協働」を基本理念としているなかで、事業者が町と対等な立場で自らの役割とその責任を分担し情報を共有しながら、まちづくりに参画できるよう協働型社会の形成をはかり、活力ある地域社会づくりを実行する。

#### 【事業内容】

ロゴマークをデザインしたのぼりを作成し、認定者の店舗に掲示し町内に目立たせることで、町内の方のみでなく、来町者へ興味を引くことでPRした。

ブランドパンフレットの充実を図るため、大学生が認定者を直接訪問し、外から見た認定品の良さや認定者の人柄に触れるなどストーリー性を高めることができた。親しみや想いを伝えながら、町内の方だけでなく町外の方にも東京みずほブランドを通じて町の良さを知っていただくことができた。

また、全国規模の物産展である「ふるさと祭り東京2017」への出展を行い、東京みずほブランドのPRを行った。町の魅力を発信し更には多摩の魅力を伝えていく。引き続き町内のイベントはもちろん、町外、都外のイベントにも積極的に参加し、パンフレットを配布することで多摩地域の瑞穂町を認識してもらうことができる。

今年度の助成事業により新たなPR方法や新たな地域でPRを実施できたことで新規顧客が獲得でき、交流人口を増加することができた。



【物産展でのPR】



【のぼり、ポスター】



## 瑞穂町

### 残堀川ふれあいイベント事業

事業種別 まちの魅力「発信・活用」事業

実施期間 平成28年5月8日

#### 事業概要 【事業の目的】

第4次瑞穂町長期総合計画では「自立と協働」を基本理念としている。残堀川ふれあいイベントは町の大きな事業のひとつであり、地域の住民がこれからも住み続けたいと思えるような地域となり、また、さまざまな人たちが集まる出会いの場をきっかけに目的を共有することで、まちづくりに参画する協働型社会の形成をはかる事業である。

#### 【成果目標】

平成20年5月に残堀川の整備が完成したことを記念し、残堀川整備完成記念事業を実施した。平成21年5月に町が主催し、残堀川ふれあいイベントが開始された。イベントへの参加者が増えることで、地域産業及び観光産業の発展を期待する。

#### 【事業内容】

ステージによる催しや出店、室内での積木など親子で楽しめるイベントとなっている。

- ①横田基地から新たな出店があり、身近な国際交流ができた。
- ②新たに追加したミニSLは前年を上回る800名を超える人が乗車した。イベントの内容を充実できたことで新たな参加者の獲得と長い時間楽しめるイベントとなった。
- ③ハイハイの子どもが遊べる場所を確保したりバルーンアートを追加するなどより多くの方が参加しやすい工夫ができた。
- ④来場者が前回より約10%増加した。
- ⑤会場となっている狭山池公園は町を代表する親水公園である。イベントのチラシに町の拠点である「さやま花多来里の郷」、「けやき館」、「耕心館」を掲載し、町の魅力を感じてもらえた。



【会場の様子】

【積み木遊び】





## 日の出町

### オリンピックによるトークショーとスポーツ教室

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成28年11月3日

事業概要 【事業の目的】

「スポーツのまち 日の出町」の定着による地域づくりを目指し、身近なトップアスリートやオリンピックから指導を受ける機会を通し、地域住民の運動・地域活性化を目的とする。

子どもたちは近隣地域の中学生とともに指導を受けることにより、地域全体の交流を高め、スポーツを通じて次世代の育成を目的とする。

親世代、シニア世代は子や孫のスポーツ活動を応援することにより、自身のスポーツへの参加意欲の向上を目的とする。

【成果目標】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致と地域スポーツボランティアとともに活動し、次世代の育成を図り「スポーツのまち 日の出町」を確立する。

【事業内容】

- ① 約240名が参加したトークショーではスポーツをするきっかけ、目標に向かって地道に努力する大切さを伝え、子どもたちの努力を支える親世代、地域住人の協力の必要性を伝えた。
- ② スポーツ教室では、マラソン・バレーボールに分かれ、より実践的な内容の指導を行った。日の出町と近隣あきる野市の小中学生を対象としたスポーツ教室であったため、チームを超えての交流と部活動顧問も直接アスリートからの指導方法を伝授してもらえた。



【トークショー】



【走り方教室】



【バレーボール教室】

## 檜原村

### 檜原村魅力発見事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年4月から平成29年3月まで

事業概要 **【事業の目的】**  
檜原村の魅力を向上させ、それを活用していくことにより、地域住民自らが村の魅力を再認識するとともに、村外へ発信していく。このことで観光客の誘致につなげていくとともに、延いては定住化を推進し、地域の活性化を図る。

**【成果目標】**  
向上：平成29年度末までに、土産品開発5点、ご当地グルメ開発1点  
発信：観光入込客数、30万名以上／年（現状29万名程度）  
活用：平成29年度末までに、イベント参加者90名以上

#### 【事業内容】

##### 「向上」事業

期間：平成28年7月5日から平成29年3月24日まで

- ①昨年度開発したスイーツ（特産であるルバーブ、柚子を用いたタルト）を商品化するための取組として、地元の事業者の協力を得て製造工程の調整、パッケージのデザイン、販売ルートの検討を行い、土産品として確立した。
- ②ご当地グルメ「おいねめし」のチラシを施設等に配布した。



【ルバーブジャム】

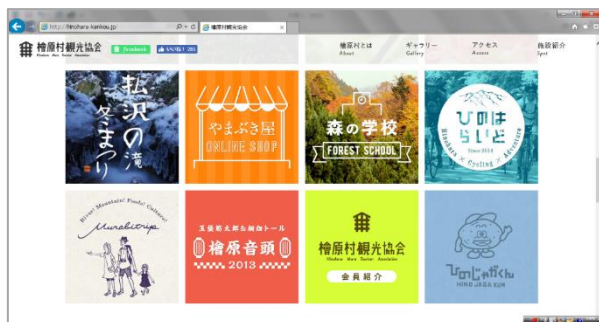


【特産品開発の様子】

##### 「発信」事業

期間：平成28年7月5日から平成29年3月24日まで

観光情報に特化したホームページを開設し、季節のイベント情報や画像の更新など利便性の向上につながるような管理を実施した。また、独自のPR動画を掲載し、よりリアルタイムな映像配信も行った。



【ホームページ】



【映像製作の様子】

「活用」事業

① 暮らしぶり体験事業

日時：平成28年11月10日～11日（第1回）  
11月26日～27日（第2回）

参加者：第1回 20名、第2回 22名

檜原村の里山ならではの暮らしを味わうイベントを実施した。11月に2回のイベントを開催し、国指定重要文化財である「小林家」を利用し、獅子汁や舞茸ご飯、こんにゃく作りを体験するなど、参加者は村の古くからの生活を体験することができた。



【郷土資料館にて里山の暮らしを学ぶ】



【村内の民家にて  
里山暮らしぶり体験】

② サイクルツーリズム推進事業

日時：平成28年5月12日及び11月6日

参加者：5月 12名、10月 53名

檜原村内を自転車できまなく回ってポイントを集める、サイクルロゲイニングイベントを実施した。ポイント配置場所を普段の観光では訪れることのない神社や隠れた眺望ポイントに設け、広く村の大自然や景観の良さをアピールすることができた。また、ポイント場所に食事ポイントも含めたことにより村内飲食店のPRにもつながった。



【スタート風景】



【参加者の様子】



## 奥多摩町

### 奥多摩魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成28年11月1日から 平成29年1月31日まで

#### 事業概要 【事業の目的】

町の様々な魅力を発信するため、総合的なパンフレット及びチラシを作成し、関心を持ってもらい奥多摩の魅力を感じ定住や観光交流につなげることを目的としている。また、町イメージキャラクター「わさぴー」を最大限に活用し、PRすることで全国へ向けて魅力を発信する。

#### 【成果目標】

このパンフレット及びチラシにより、一人でも多くの方に奥多摩の魅力を知ってもらい来町して奥多摩の魅力を肌で感じてもらう。自然豊かなまちと子育てにやさしいまちとして、若者定住対策につなげることでイメージキャラクター「わさぴー」のキャラクターグッズ等を作成しPRすることで知名度アップを目標とする。

#### 【事業内容】

自然豊かな町の観光スポットと子育て支援・若者定住応援情報を盛り込んだパンフレットを作成するとともに、その概要版となる子育て・定住応援情報チラシを作成し、更に力を入れて町外に魅力を発信した。また、町のイメージキャラクター「わさぴー」の各種グッズを作成し、PRを行った。

①子育て・定住応援情報パンフレット作成 8,000部

②子育て・定住応援情報チラシ作成 10,000部

③わさぴーキャラクターグッズ等作成

- ・ぬいぐるみストラップ 1,000個
- ・キーホルダー 5種類各60個 300個
- ・クリアーファイル 3,000枚
- ・クリップデザインボールペン 500本
- ・虫よけワッペンシール 1,000枚
- ・オリジナル絆創膏 1,000セット
- ・ショッピングバッグ（OPP製） 1,000枚
- ・ショッピングバッグ（紙製） 500枚
- ・キャラクターシール 500枚



【子育て・定住応援情報  
パンフレット&チラシ】



【わさぴーキャラクター  
グッズ】





## 利島村

### 利島村国際化推進事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

事業概要 **【事業の目的】**  
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機とし、利島村を海外に向けてアピールしていくために、地域の英語力の向上を図り、まちの魅力の向上につなげる。また、利島村や外国人講師のソーシャルメディア等を活用しまちの魅力を海外へ発信していくことを目的とする。

**【成果目標】**  
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の際には、外国人観光客の増加と、外国人へのまちの魅力の紹介等を住民が積極的に行えるよう目標とする。

**【事業内容】**  
①外国人英語講師により研修及び教室を開催し、地域住民の英語力向上を図った。(保育園・学校・地域住民への英会話教室の開催)  
**【英会話75回開催/参加延べ人数440591名】**  
②外国人観光客に向けて、島の魅力を発信するため、観光パンフレットを英語表記にし、島内施設や宿泊施設に配置し、来島した外国人観光客への説明や解説を行える体制を整えている。【21部作成】



【社会人向け英会話教室】



【学校英会話教室】

## 新島村

### 新島村魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」事業

実施期間 平成 28 年 4 月から平成 29 年 2 月まで

#### 事業概要

##### 【事業の目的】

新島村の知名度向上を図るため、様々な PR 媒体を活用し、新島村の魅力を島内外に発信することを目的とする。

##### 【成果目標】

次年度、物産展でのアンケート調査における、新島・式根島の認知度 30% 向上を目標とする。また、対前年度来島者数により効果検証する。

##### 【事業内容】

事業名：街中 PR 事業 2（都内運行バスを活用した PR 事業）

ラッピング期間：平成 28 年 4 月 29 日～平成 29 年 1 月 31 日

バス会社が企画する広告宣伝媒体（ラッピングバス）を活用し、都内で新島・式根島 PR を実施する（掲載期間 9 ヶ月間）。

また、ラッピングバス内にもポスター掲載し、内外から新島村の PR を実施した。

ラッピングバスは他の広告媒体と比較して掲載期間が長いうえに金額が安価である。また、『動く広告』という事もあり、PR 対象者が乗客、歩行者、運転者など幅広く、目にもつきやすいなどのメリットがある。

運行経路については、企業や大学など人が多く、注目度の高い新宿営業所（渋谷・新宿・新橋発着）を選定。SNS 等コミュニケーションツールからの相乗的な PR 効果を求めた。

ラッピングデザインについては、島が有する大自然の『癒し』をテーマに、見た人にインパクト与え、新島・式根島が印象づけられるデザインにした。また、当事業を HP や広報でも紹介し、都内在住の島関係者に対し、稀薄になりつつある島の存在を再度印象付けた。



【ラッピングバス】



【車内広告】

## 神津島村

### 島しょサッカー大会「まちの魅力」向上事業

事業種別 まちの魅力「向上」事業

実施期間 平成28年9月3日、4日

#### 事業概要

##### 【事業の目的】

伊豆諸島の北部地域（大島・利島・新島・式根島・神津島）の小学生（男女）を対象に合同での練習やミニサッカー大会を行い、島しょ地域の振興を深めると共にスポーツを通じたまちの魅力の向上を図る。

また団体受入のノウハウ習得の機会とすると共に、ミニサッカー大会後に小学生を対象とした島の特徴を生かした交流体験メニュー等を発掘する。

##### 【成果目標】

スポーツ団体受入のメニュー、小学生対象の体験メニューを確立し、今後島外に発信し、合宿誘致等のきっかけとする。

##### 【事業内容】

伊豆諸島の北部地域（大島・利島・新島・式根島・神津島）の小学生男女を対象に合同練習、ミニサッカー大会を行った。大会後、磯遊び、海水浴、飛び込み体験の予定だったが、急な天候悪化により、温泉に変更した。夜は懇親会を行い、子ども達で島の魅力や体験してみたいメニューを発表させた。

参加者：小学生、監督・コーチ等含め、約100名



【サッカー大会の様子】



## 神津島村

### ウォーキング大会地域活性化事業

事業種別 まちの魅力「活用」事業

実施期間 平成 28 年 11 月 26 日

事業概要 **【事業の目的】**  
神津島の自然を活用したウォーキング大会の開催  
子どもから中高年の幅広い年齢層の方が気軽に参加し、健康づくりや  
体力づくりへの意識の向上と地域住民の交流の場として実施する。

**【成果目標】**  
神津島の自然を活用したイベントを実施し、島民はもちろん島外の観光客  
にも島の魅力を活用した健康づくりや体力づくりを体験してもらい次年  
度以降も継続的なイベントとして実施していく。

**【事業内容】**  
講師は元オリンピックスピードスケート選手で現在はウォーキングの  
普及活動に取り組まれている勅使川原郁恵さんを招き、講演後に準備体操  
の指導、参加者とのウォーキングを実施した。  
コースは体力に合わせて参加できるよう 2 つ設定した。  
コース：6キロコース、8キロコースの2つから選択  
参加者：186名（内島外者 2名）



【ウォーキング大会の様子】





三宅村

観光宣伝事業

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業

実施期間 平成 28 年 6 月から平成 29 年 1 月まで

事業概要 **【事業の目的】**  
観光資源の発掘と開発を行い、新たな魅力を発信することでまちの認知度を上げ観光客の誘客を効率よく図ることを目的とする。

**【成果目標】**  
向上：地産食材を活用した三宅島オリジナルの新たな特産品を開発し、地域経済の活性化を図る。  
発信：①既設の観光案内板等を外国語標記にするための翻訳やその標記方法をシステム化し、外国人観光客の誘客及び利便性の向上を図ること  
②島外で行なわれるイベントに出展し、まちの魅力について発信し、まちの知名度を上げ観光客の集客を効率よく図ること  
活用：まちの魅力を観光資源として活用し、観光スポットのポスター（リーフレット）やペーパーバッグを制作し、観光宣伝の新たなツールとして活用

**【事業内容】**  
「向上」事業  
期間：平成 28 年 12 月 9 日から平成 29 年 1 月 31 日まで  
地元の食材を活用し、長期保存の可能な方法で加工した。また、地元食材を利用した飲料としても加工し、三宅島の新たな特産品としての開発を行った。



【薩摩餅真空パック】



【明日葉味噌汁】



【島ビール】

「発信」事業  
期間：平成 28 年 6 月 1 日から  
平成 29 年 1 月 31 日まで

- ①外国語翻訳及びシステム構築  
村で設置している三宅島ジオマップ看板（7箇所）をベースに、外国語標記をスマートフォンで自動表示するためのシステム構築。



지오 명소 붉은 자갈 공원 - 미오가 평 크리아 (붉은 자갈)와 오우보 바닷가 -  
산 중턱에있는 작은 언덕은 "미오가 평 크리아"라고 단상 미산 크리아 언덕 (붉은 한 경치이 빨이 산로 한 것)입니다. 동쪽은 앞이 붉게 그을린 화산의 단면이 보이 지 것으로부터, "붉은 자갈"라고했습니다. 석성이 붉은 울림에 울림이 그을에서 산해 한 것입니다. 붉은 자갈 절벽은 지금은 원전의 나무에 덮여 보이지 어렵게되어 있습니다.



【韓国語による表示】



②イベント出展

3つの物産展に出展し、三宅島郷土芸能『木遣り太鼓』を披露したり、特産品を販売するなど、観光PRを行った。

- ・平成28年9月25日 東京ビックサイト  
ツーリズムEXPO JAPAN 2016
- ・平成28年11月25日～27日 シンボルプロムナード公園  
東京味わいフェスタ 2016in 臨海副都心
- ・平成29年1月13日～15日 東京ドーム  
ふるさと祭り東京 2017



【三宅島郷土芸能『木遣り太鼓』】



【展示ブースの様子】



【特産品を販売】



【物産展の様子】

「活用」事業

期間：平成28年9月から平成29年1月まで

- ①三宅島の地図、三宅島の鳥「アカコッコ」をデザインしたペーパーバッグの製作を行った。
- ②観光スポットのポスター兼リーフレットの製作を行った。



【ペーパーバッグ】



【ポスター兼リーフレット】

## 御蔵島村

### 御蔵島花火大会

③事業種別 まちの魅力「向上」「発信」「活用」事業

④実施期間 平成28年8月4日

⑤事業概要 【事業の目的】  
住民に納涼・親睦の機会を提供することで地域への愛情や誇りを培い、観光客を積極的に誘致することで経済の活性化を図ることを目的とする。

【成果目標】  
観光業のメインコンテンツであるイルカウォッチングに付加価値を付ける事業としての位置づけを確保し、長期的には本事業単独での安定的な例年開催による観光客の増加を目標とする。

【事業内容】  
昭和54年に初めて開催されて以来例年実施されている花火大会において規模を拡大し、また質的水準を向上させた。  
雑誌への記事掲載や、インターネット情報サイトへの情報掲載等周到的な事前告知を実施した。  
観覧者：約500名



【栈橋からの打ち上げ花火】



## 八丈町

### 八丈島魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年5月23日から平成29年2月3日まで

事業概要 **【事業の目的】**  
 低迷する観光客減少に歯止めをかけ、観光振興及び地域活性化に寄与することを目的とする。

**【成果目標】**  
 観光客及び地域消費額増加を目標とする。

**【事業内容】**  
 平成27年度事業の観光資源発掘を生かし、八丈島観光協会のホームページ一部変更を実施した。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も見据え2ヶ国語（日本語、英語）、スマートフォン対応も行った。前年度の観光資源「ポットホール」も活用した。



【ホームページ画面】



## 青ヶ島村

### 青ヶ島魅力発信事業（星空事業）

事業種別 まちの魅力「向上」「発信」事業

実施期間 平成28年4月1日から平成29年2月28日まで

#### 事業概要 【事業の目的】

青ヶ島の豊かな自然をたくさんの人に知ってもらおう。また、青ヶ島に来島してその自然を実感してもらおう。住民がさらに青ヶ島の自然の良さを知り、大切にしていけるようにする。

既存の星空のホームページだけでなく、紙媒体（パンフレット）を作成し、青ヶ島の星空の素晴らしさを島内外に発信することを目的とする。

#### 【成果目標】

来島者の増加及び地域の活性化、住民への意識啓発。

村内で島民や来島した観光客へ配布し、青ヶ島の魅力を再認識してもらおう。

また、村が参加している都内のイベントで配布し、島外からの新たな来島者の増加につなげる。

それぞれの季節により観測できる星座も違うため、パンフレットにはその情報や島内での観測スポットを明記し、リピーターも呼び込む。

#### 【事業内容】

平成24年度に星空のホームページを作成し、口コミ等で観光客の増加につながっているが、紙媒体で発信していないため、インターネット環境がある人のみへの発信となっている。

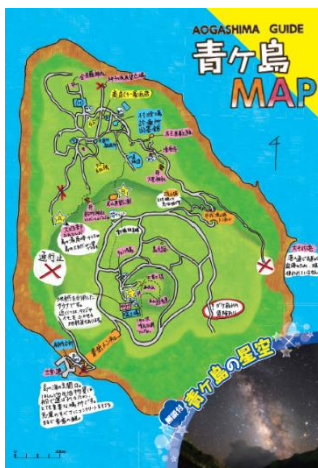
観光スポットの紹介とあわせて星空の観測ガイド等を記載したパンフレットを作成する。

パンフレットには、カメラマンに青ヶ島まで出張取材してもらい、ホームページには載っていない新たな写真を掲載。観音開きのパンフレットは、星空の写真を季節ごとにまとめ、旅を終え家に帰っても飾りたいと思えるよう配置を工夫した。

また、パンフレットを手に島内を散策してもらい、星空観測スポットまで迷わず行けるよう、わかりやすく説明した地図を載せた。

できあがったパンフレットは、島内の商店や民宿、また、島外にも設置を予定している。

【パンフレット表紙】





## 小笠原村

### 教育旅行における小笠原諸島の魅力発信事業

事業種別 まちの魅力「発信」「活用」事業

実施期間 平成28年7月から平成29年3月まで

事業概要 【事業の目的】

小笠原の後世に伝え継ぐべき特異な自然と文化、数奇な歴史的経緯を、次代を担う若い世代に「知り、実際に体験する」機会を持ってもらうため、村外に向けての積極的な情報発信していくこと、それを通して、村外からの目線による小笠原の新たな魅力と今後の可能性を再確認し、それを村民が共有することで「小笠原に生きる者」としてのアイデンティティの再確認を促し、もって返還50周年に向けた島内の機運醸成を図ることを目的とする。

【成果目標】

積極的な情報発信していくための有効なPR素材（Webサイト及び紙媒体資料）を作成するとともに、長期的には平成30年度以降に小笠原での教育旅行実施を新規に決定する学校等教育機関を2件以上獲得することを目標とする。

【事業内容】

- ・ 現行の教育旅行誘致の実情の検証
- ・ 新おがさわら丸、新ははしま丸の就航を前提とした教育旅行のメニュー内容の刷新の検討  
（スケジュール、プログラム、宿泊施設等）
- ・ 上記2点を踏まえたPR素材（紙媒体資料、映像媒体資料、Webサイト）の作成



【教育旅行説明会の様子】



【教育旅行催行イメージ】



# 資料編

---



## 多摩・島しょわがまち事業助成金交付要綱

(総則)

第1条 この要綱は、東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）が多摩・島しょ地域の市町村（以下「市町村」という。）に対して、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金（以下「助成金」という。）を交付することに関して、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 助成金は、市町村が計画的に実施する、多摩・島しょ地域にある「まちの魅力」を通して住民の地域への愛着・誇りを高め、まちの活性化につながる事業を支援することにより、多摩・島しょ全体の魅力を高めることを目的とする。

(事務の委任)

第3条 町村会は、本要綱に係る事務の執行については、市長会に委任する。

(助成対象者)

第4条 助成対象者は、市町村とする。

2 助成金の申請者は、市町村長（以下「申請者」という。）とする。

(助成期間)

第5条 本要綱における助成は、平成27年度から平成29年度までの間とする。

(助成対象事業)

第6条 助成対象事業は、次の各号の一に該当し、前条に規定する助成期間内において新たに実施する事業のうち、市長会会長（以下「会長」という。）が必要と認める事業とする。

- (1) 「まちの魅力」の向上に資する事業
- (2) 「まちの魅力」の発信に資する事業
- (3) 「まちの魅力」の活用に資する事業

(助成対象経費及び助成金の額)

第7条 助成対象経費は、助成対象事業に要する経費（施設整備等に係る経費、備品購入費及び市町村の職員人件費を除く。以下同じ。）から、当該事業の実施に伴う収入額を控除して得た経費とする。

2 助成金の額は、助成対象経費の10分の10とし、その上限は、一市町村につき年間300万円とする。

(交付申請)

第8条 助成金の交付を受けようとする申請者は、次に掲げる書類を、毎年度、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

- (1) 多摩・島しょわがまち活性化事業助成金交付申請書（様式1）
- (2) 多摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業計画書総括表（様式2）
- (3) 多摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業計画書（様式3）
- (4) その他会長が必要と認める書類

2 助成金の交付を受けようとする申請者は、原則として平成27年度から29年度までの3年間

で一定の成果を見込める事業計画を立案し、初年度に多摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業計画書総括表（様式2）により提出すること。

- 3 複数年度にわたり同一事業の助成を受けようとする場合においても、毎年度、助成金の交付を申請しなければならない。

（交付決定及び通知）

第9条 会長は、前条の規定による交付申請があったときは、別に定める市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、助成金交付の可否を決定する。

- 2 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに申請者に対し、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金交付・不交付決定通知書（様式4）により通知する。

（助成事業の遂行）

第10条 前条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、第8条の規定により提出した事業計画（以下「事業計画」という。）に従い、事業を適正に遂行しなければならない。なお、事業計画の主要部分についての変更は、認めないものとする。

（助成事業の変更）

第11条 第9条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、通知された助成金交付決定総額の範囲内で主要部分以外の事業内容に変更（各事業において交付決定額の30%以内の額の変更を除く）の必要が生じたときは、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金変更交付申請書（様式5）に多摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業変更計画書総括表（様式6）、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業計画書（様式3）及びその他会長が必要と認める書類を添付し、会長に提出しなければならない。

- 2 会長は、前項の規定による変更交付申請があったときは、その内容を審査し、変更交付の可否を決定する。

- 3 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに変更交付申請者に対し、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金変更交付・不交付決定通知書（様式7）により通知する。

- 4 前項の規定により変更交付の決定を受けた申請者は、第1項の規定により提出した変更後の事業計画に従い、事業を適正に遂行しなければならない。

（申請の取下げ）

第12条 第9条第2項の規定による交付決定又は前条第3項の規定による変更交付決定を受けた申請者（以下「被交付決定者」という。）は、助成金の申請を取り下げるときは、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金取下申請書（様式8）を会長に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 会長は、前項の規定による申請を受理したときは、速やかに被交付決定者に対し、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金取下承認通知書（様式9）により通知する。

（軽微な変更の届出）

第13条 第11条第1項の規定にかかわらず、被交付決定者は、事業名称の一部修正など、軽微な変更の必要が生じたときは、速やかに書面により会長に届け出なければならない。

（実績報告）

第14条 被交付決定者は、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金実績報告書（様式10）に多



摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業実績調書総括表（様式 1 1）、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金事業実績調書（様式 1 2）、領収書等助成対象経費の支出を証明する書類の写し及びその他会長が必要と認める書類を添付し、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

（助成金の額の確定）

第 1 5 条 会長は、前条の規定による報告を受けたときは、その内容の審査を行い、助成金の額を確定し、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金確定通知書（様式 1 3）により被交付決定者に通知する。

（助成金の請求及び交付）

第 1 6 条 被交付決定者は、前条の規定により助成金の額が確定した後に、多摩・島しょわがまち活性化事業助成金請求書（様式 1 4）（以下「請求書」という。）を別に定める日までに会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定により請求書が提出されたときは、速やかに助成金を交付する。

（助成金の管理執行）

第 1 7 条 助成金の交付を受けた被交付決定者は、当該市町村の事務に準じて、適正に助成金を管理執行しなければならない。

（交付決定の取り消し）

第 1 8 条 会長は、被交付決定者が次の各号の一に該当した場合は、助成金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。

（1）虚偽その他不正な手段により助成金の交付決定を受けたとき

（2）事業の実施に際して、法令に違反したとき

（3）本要綱又は交付決定に付した条件に違反したとき

2 前項の規定は、交付すべき助成金の額の確定があった後においても適用する。

3 助成金の交付を受けた被交付決定者は、助成金の交付決定が取り消された場合は、当該取り消しに係る部分の助成金を速やかに会長に返還しなければならない。

（事務の所管）

第 1 9 条 この要綱に基づく事務は、市長会事務局企画政策室が所管する。

（事業への協力）

第 2 0 条 町村会及び公益財団法人東京市町村自治調査会は、市長会から事務の執行に際し、協力の依頼が有った場合は、協力するものとする。

（補則）

第 2 1 条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付について必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 2 7 年 4 月 1 日から施行し、平成 3 0 年 3 月 3 1 日限りにその効力を失う。但し、第 1 8 条の規定は、失効後においてもその効力を有する。

## 資料 2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

### 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

(設置)

第1条 東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）は、市長会及び町村会が多摩・島しょ地域の魅力を高めるために実施する助成金の交付にあたり、その適否を審査させるため、市町村共同事業助成金審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

(事務の委任)

第2条 町村会は、本要綱に係る事務の執行について、市長会に委任する。

(所掌事務)

第3条 審査会は、市長会会長の求めに応じて対象事業の内容を審査し、助成金申請者に対し必要に応じて事業実施に係る助言を行うとともに、市長会会長に助成金交付の適否について報告する。

(組織)

第4条 審査会は、市長会会長を除く次に掲げる6名の委員をもって組織する。

- (1) 市長会の代表1名
- (2) 町村会の代表1名
- (3) 学識経験者2名
- (4) 市長会事務局長
- (5) 町村会事務局長

2 委員は、市長会会長が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱の日から2年とし、再任を妨げない。

4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審査会の会長等)

第5条 審査会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選による。

3 副会長は、会長が指名する。

4 会長は審査会を代表し、会務を総括する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会長は、必要に応じて審査会を招集する。

2 審査会は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 審査会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、適否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、審査会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(委員報酬等)

第7条 第4条第1項第3号に規定する委員については、東京都市長会附属協議会に対する補助金交付要綱（平成11年4月1日施行）第3条第3号の基準に準じて報酬等を支給する。

(庶務)

第8条 審査会の庶務は、市長会事務局企画政策室において処理する。

(事業への協力)

第9条 町村会及び公益財団法人東京市町村自治調査会（以下「調査会」という。）は、市長会から事務の執行に際し協力の依頼が有った場合は、協力するものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、審査会に関し必要な事項は、市長会会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際に、調査会の市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱（平成22年4月1日施行）第3条第2項の規定により、委員に委嘱されている者については、第4条第2項の規定に係らず、委員に委嘱したものとみなす。この場合の委員の任期は、第4条第3項の規定に係らず、平成28年4月30日までとする。

附 則

この要綱は、平成28年5月1日から施行する。

資料3 市町村共同事業助成金審査会 委員名簿

(敬称略)

| 選出区分                    | 氏名                 | 所属・役職              | 任期                       |
|-------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 東京都市長会<br>(要綱第4条第1項第1号) | わたなべ たかし<br>渡部 尚   | 東村山市長              | 平成28年5月1日～<br>平成30年4月30日 |
|                         | いしもり たかゆき<br>石森 孝志 | 八王子市長              | 平成26年5月1日～<br>平成28年4月30日 |
| 東京都町村会<br>(同項第2号)       | さかもと よしじ<br>坂本 義次  | 檜原村長               | 平成28年5月1日～<br>平成30年4月30日 |
| 学識経験者<br>(同項第3号)        | すみたに あきお<br>炭谷 晃男  | 大妻女子大学<br>社会情報学部教授 |                          |
|                         | やすい みき<br>保井 美樹    | 法政大学<br>現代福祉学部教授   | 平成28年8月1日～<br>平成30年4月30日 |
| 東京都市長会事務局長<br>(同項第4号)   | きしがみ たかし<br>岸上 隆   | 東京都市長会<br>事務局長     | 平成28年5月1日～<br>平成30年4月30日 |
| 東京都町村会事務局長<br>(同項第5号)   | なぐら ひとし<br>名倉 衡    | 東京都町村会<br>事務局長     |                          |



平成 28 年度 多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業実施報告書

平成 29 年 3 月

編集、発行 東京都市長会事務局 企画政策室

〒183-0052

東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館内



古紙配合率70%再生紙を使用しています